

---

---

# 為替相場展望

2012年12月

 株式会社 日本総合研究所

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/exchange>

---

---

## 目次

- ◆為替相場概説 . . . . . p. 1
- ◆ドル円、ユーロ相場の回顧 . . . . . p. 2
- ◆米FRBの金融政策とドル円相場 . . . . . p. 3
- ◆ECBの金融政策・為替需給・ユーロ圏景気とユーロ相場 . . . . . p. 4
- ◆為替需給からみた円相場 . . . . . p. 5
- ◆トピックス：11月半ば以降の円安相場は持続するのか . . . . . p. 6
- ◆ドル円、ユーロ相場の見通し . . . . . p. 7
- ◆内外市場データ . . . . . p. 8

調査部 マクロ経済研究センター  
井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

◆本資料は、2012年12月5日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

# 為替相場概説 (2012年12月)

## 1. ドル円、ユーロ相場の回顧

### <11月のドル円相場>

米大統領・議会選挙後、米財政政策を巡る不透明感が強まるなか、79円台まで円高ドル安が進行。もっとも、月半ば以降は、日銀に積極的な金融緩和を求める自民党への政権交代の思惑が強まったほか、わが国貿易赤字が拡大したこと等を受けて、一時82円台後半まで円安ドル高が加速。

### <11月のユーロ相場>

ユーロ圏景気の悪化懸念やギリシャ支援合意を巡る不透明感等を背景に、月半ばにかけて100円台まで円高ユーロ安が進行。その後は、わが国新政権下で日銀への金融緩和圧力が強まるとの思惑やギリシャ支援合意を背景に、一時107円台後半まで円安ユーロ高が加速。

## 2. 米FRBの金融政策とドル円相場

12月のFOMCでは、FRBが年末のツイストオペ終了を見据え、追加金融緩和に踏み切る公算が大きいものの、米国金利の低下余地が乏しいなか、円高ドル安進行余地は限られる公算。米国の「財政の崖」回避が期待される来春以降は、米国景気の持ち直しを背景にドルが底堅さを増してくる可能性。もっとも、FRBが雇用情勢に顕著な改善が認められるまで積極的な金融緩和を継続する意向を示している以上、本格的な円安ドル高進行にはなお時間がかかるとみておく必要。

## 3. ECBの金融政策・為替需給・ユーロ圏景気とユーロ相場

7月末のドラギECB総裁によるユーロ防衛表明以降、ECBや欧州各国による危機対策進展により、金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクが後退。需給面からみれば、今夏以降、対内証券投資が持ち直すなど、ユーロ圏への資金流入が回復したことがユーロを下支えしている可能性。もっとも、①債務問題再燃リスク、②ユーロ圏景気の悪化持続、③ECBに対する追加金融緩和期待、等から、今後もユーロ安に振れるリスクが残存。

## 4. 為替需給からみた円相場

円を取り巻く為替需給をみると、円高圧力が後退しており、為替需給は円高を正当化せず。もっとも、11月半ば以降の円安進行は投機筋が主導した可能性が大。投機筋に主導される円安は持続性に乏しく、円安基調の明確化には、米国をはじめとした海外景気の本格的回復に伴い内外金利差が大きく拡大し、その結果、対外証券投資や円キャリートレード等を通じた円売りが盛り上がってくるのが不可欠。

## 5. トピックス：11月半ば以降の円安相場は持続するのか

11月半ば以降、日銀に積極的な金融緩和を求める自民党への政権交代の思惑等を背景に、円が急落。日銀の金融緩和が円安を促す経路としては、①名目金利の低下、②インフレ率の上昇、③アナウンスメント効果、等を通じた経路が想定されるものの、①名目金利の低下余地の乏しさ、②インフレ率上昇に繋がる経路の機能不全、を踏まえれば、11月半ば以降の円安進行は「アナウンスメント効果」に支えられた側面が大きく、政府・日銀が一体となって円高・デフレ脱却に繋がるような政策を地道に実行していかない限り、円安の持続性には疑問。

## 6. ドル円、ユーロ相場の見通し

### <ドル円相場の見通し>

自民党を中心とした新政権が誕生した場合の日銀に対する金融緩和圧力強化観測や、為替需給面での円高圧力の後退等を背景に、円が弱含みやすい地合い。もっとも、米国の財政政策を巡る不透明感の残存やFRBの金融緩和長期化観測等により、本格的な円安ドル高進行にはなお時間がかかる見込み。

### <ユーロ相場の見通し>

ECBや欧州各国による危機対策進展により、金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは後退したものの、①債務問題再燃リスク、②ユーロ圏の景気悪化持続、③ECBへの追加金融緩和期待、等から、ユーロ下振れリスクは残る見込み。

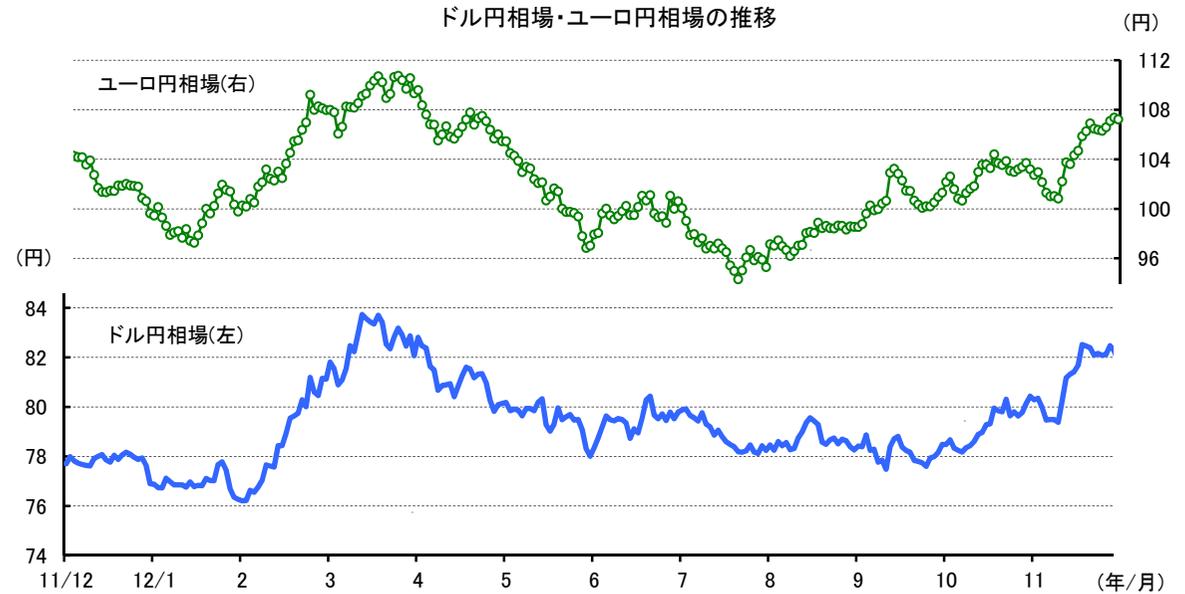
# 月前半は米財政政策やギリシャ支援を巡る不透明感を背景に円高に振れるも、後半は積極的な金融緩和を求める自民党への政権交代の思惑を背景に円が急落。

## <11月のドル円相場>

11月6日(日本時間7日)の米大統領・議会選挙を受けて、上下両院で多数派が異なる「ねじれ」議会在野が継続したことから、米財政政策を巡る不透明感が強まり、9日には79.06円まで円高ドル安が進行。しかし、14日に野田首相が衆議院の解散を表明したことを受け、日銀に積極的な金融緩和を求める自民党への政権交代の思惑が強まり、円安の流れに転換。その後、①安倍自民党総裁が日銀に金融緩和の強化を求める発言を繰り返したこと、②わが国の貿易収支が10月としては過去最大の赤字額を記録したこと、等を受けて、22日には82.85円まで円安ドル高が加速。月末にかけては、安倍総裁による日銀への金融緩和要請がトーンダウンしたことから、82円を挟んで一進一退の展開へ。

## <11月のユーロ相場>

欧州委員会による経済見通しの大幅下方修正等を受けてユーロ圏景気の悪化懸念が強まったほか、ユーロ圏財務相会合でギリシャ向け追加支援が合意されなかったこと等を背景に、13日にかけて100円台までユーロ安が進行。しかし、14日に野田首相が衆議院の解散を表明すると、新政権の下で日銀への金融緩和圧力が強まるとの思惑から、円安の流れに転換。その後も、①新政権下での日銀による積極的な金融緩和への期待、②わが国の貿易収支が10月としては過去最大の赤字額を記録したこと、③ユーロ圏財務相会合でギリシャ支援が合意されたこと、等を背景に、月末にかけて107円台後半まで円安ユーロ高が進行。



(資料)Bloomberg L.P.

## 米FRBが追加緩和に踏み切っても、ドル安進行余地は限られる公算。一方、米国の金融緩和長期化が見込まれるなか、本格的な円安ドル高進行も期待薄。

ドル円相場は日米金利差、とりわけ日米両国の景気及び金融政策への期待を反映して変化する日米の2年債利回り格差と高い相関関係を維持。日本の金利がほぼゼロ%で底這うなか、日米金利差の変動の大半は米国金利の変動で決まっていることから、米国金利の低下余地が乏しくなっていることは米国の金融緩和を背景としたドル安圧力が減衰してきていることを示唆。

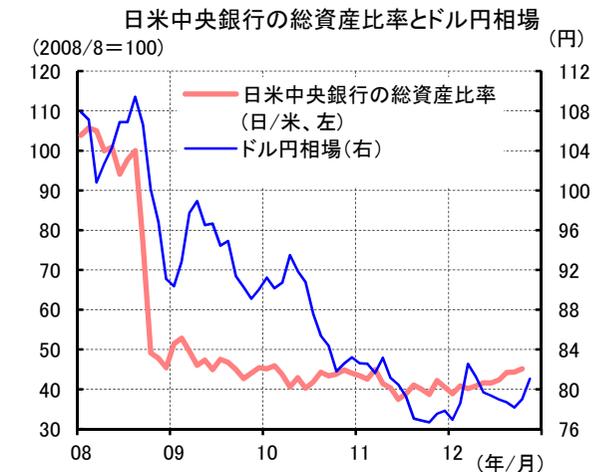
一方、日米ともに金利の低下余地が乏しくなるなか、金融緩和度合いをはかる指標として日米中央銀行の総資産規模に注目する向きが多くなっているものの、ドル円相場と日米中央銀行の総資産規模比率の間には、相関関係はほとんどみられず。

12月のFOMCでは、FRBが年末のツイストオペ終了を見据え、追加金融緩和に踏み切る公算が大きいものの、米国金利の低下余地が乏しいなか、円高ドル安進行余地は限られる公算。もっとも、足許では米国金利がほとんど上昇していないにもかかわらず円安が進行しており、FOMCをきっかけにその揺り戻しが生じるリスク。

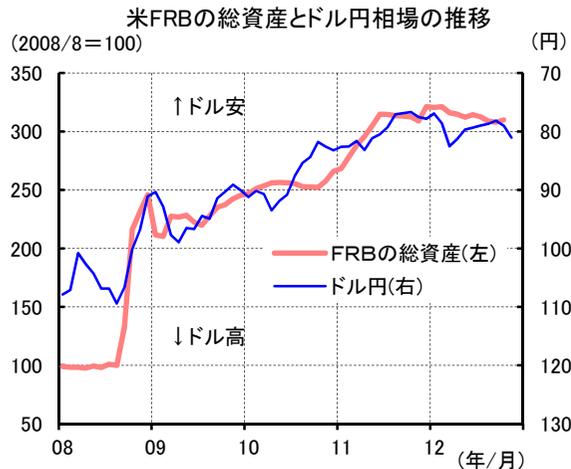
米国の「財政の崖」回避が期待される来春以降は、米国景気の持ち直しを背景に米国金利が上昇し、ドルが底堅さを増してくる可能性。もっとも、FRBが雇用情勢に顕著な改善が認められるまで積極的な金融緩和を継続する意向を示している以上、金利上昇余地は限られるとみられ、本格的な円安ドル高進行にはなお時間がかかるとみておく必要。



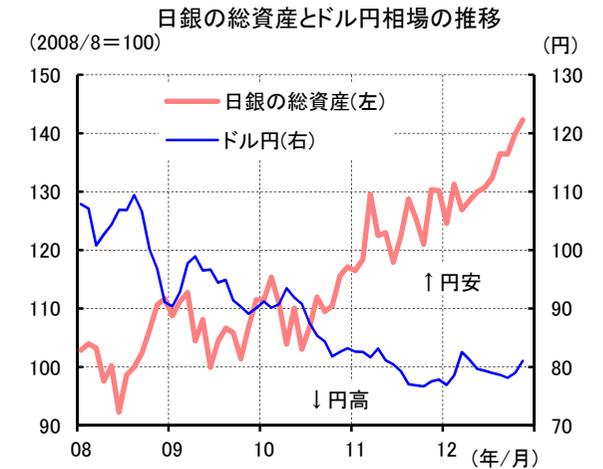
(資料)Bloomberg L.P.



(資料)日銀、米FRB



(資料)米FRB



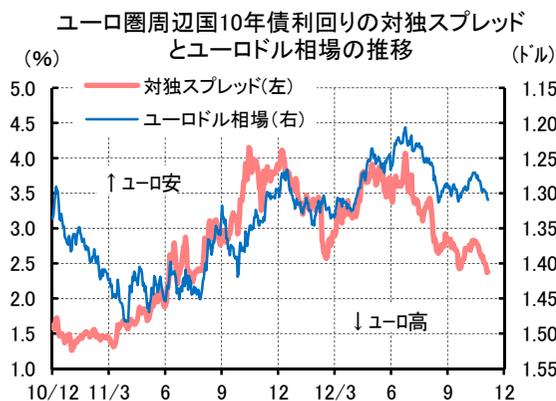
(資料)日銀

# ECBや欧州各国による危機対策進展を背景に、ユーロの底堅い推移が持続。もともと、今後もユーロ安に振れるリスクは残存。

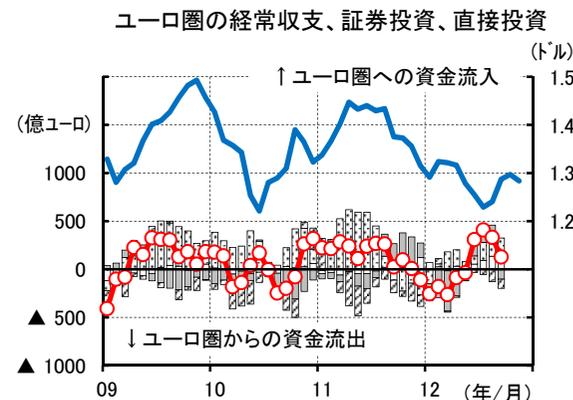
ユーロドル相場は11月入り後も底堅い推移が持続。7月末にドラギECB総裁がユーロ防衛を表明して以降、①ECBによる無制限の国債買入策(OMT)発表(9月)、②ESMの正式稼働(10月)、③ギリシャ支援合意(11月)、などの危機対策が進展したことにより、金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクが後退したことが背景。需給面からみれば、今夏以降、対内証券投資が持ち直すなど、ユーロ圏への資金流入が回復。このことがユーロを下支えしている可能性。

もともと、以下の点を勘案すれば、今後もユーロ安に振れるリスクが残存。第1は、債務問題の再燃リスク。11月にギリシャ支援が合意されたものの、債務問題の抜本的な解決にはギリシャの構造改革推進が不可欠であり、構造改革が進まなければ、追加支援が必要になる恐れ。第2は、ユーロ圏景気の悪化持続。GDPと相関が高いPMI総合指数は、ユーロ圏景気の悪化が続いていることを示唆。第3は、ECBに対する追加金融緩和期待の残存。南欧諸国を中心にユーロ圏景気の悪化が続くなかでも緊縮財政により財政政策が封じられているため、景気刺激の観点からECBに対する追加金融緩和期待が高まりやすい状況が続く公算大。

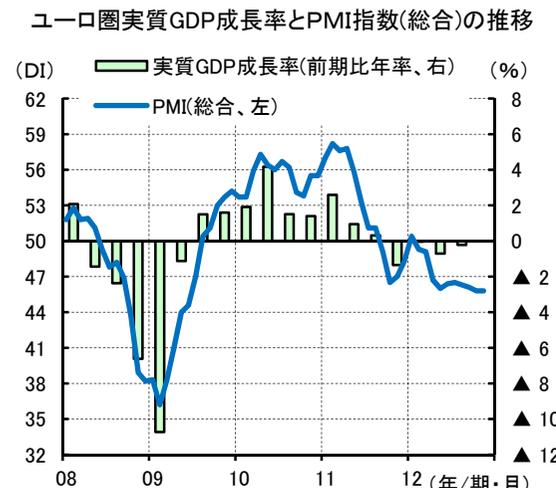
なお、投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引(非商業部門)のユーロポジションをみると、ユーロ売り持ち超が持続しており、投機筋はユーロの先行きについて慎重姿勢を崩していないことを示唆。



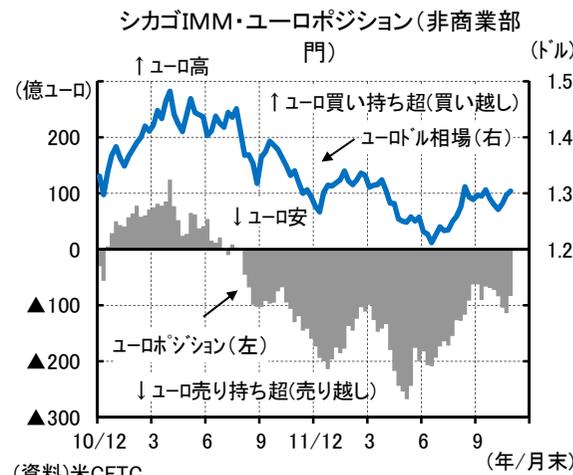
(資料)Bloomberg L.P. (年/月末)  
 (注)ユーロ圏10年債の対独スプレッド算出の対象は、2001年までのユーロ加盟国(除ルクセンブルク)とし、2011年の名目GDPで加重平均。



(資料)ECB, Bloomberg L.P. (注)いずれも3カ月移動平均。



(資料)Markit, Eurostat



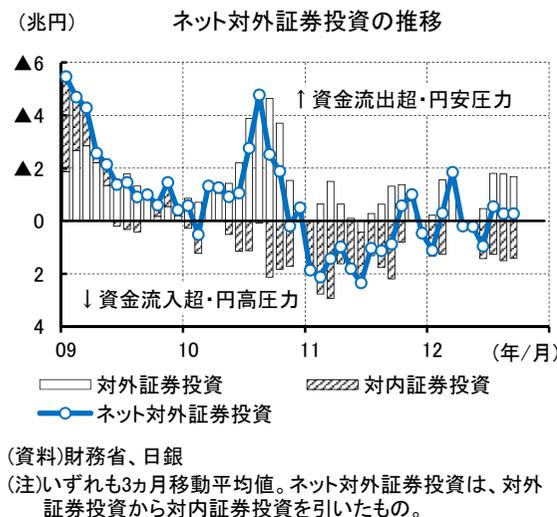
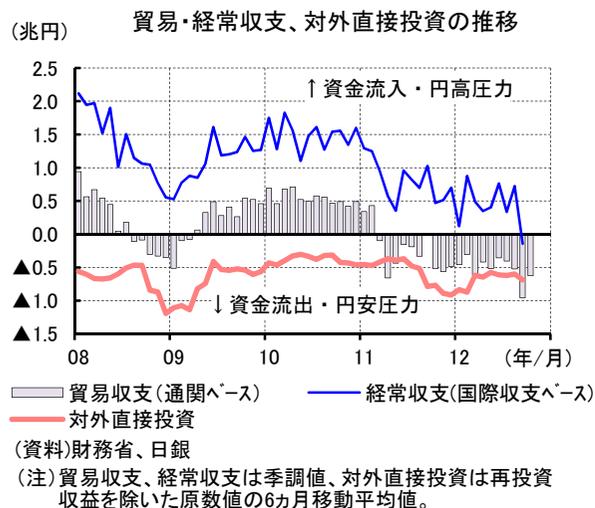
(資料)米CFTC (注)直近値は11/27。

# 円を取り巻く為替需給は円高を正当化せず。もっとも、円安基調の明確化には内外金利差拡大による対外証券投資等の活発化が不可欠。

足許の円を取り巻く為替需給をみると、①貿易赤字を主因とした経常黒字の縮小、②対外直接投資の増加、③対内証券投資の昨年対比での減少、等により、円高圧力が後退しており、為替需給は円高を正当化せず。11月8日に発表されたわが国の9月経常収支(季節調整値)が赤字となったほか、21日に発表された10月貿易収支(原数値)が10月として過去最大の赤字を記録したことが円安材料として意識される場面も。

もっとも、投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引(非商業部門)の円ポジションをみると、投機筋は足許にかけて円売り持ちポジションを大きく拡大させており、11年半ば以降の急速な円安進行は投機筋が主導した可能性が大。投機筋は新政権の下で日銀への金融緩和圧力が強まるとの思惑等から、円売りポジションを積み上げている可能性が高く、今後、日銀の金融緩和に対する過度な期待が剥落すれば、投機筋の円売りポジションの巻き戻しにより、短期的には円高に振れるリスク。

今年2月から3月にかけての急速な円安局面でみられた通り、投機筋に主導される円安は持続性に乏しく、円安基調の明確化には、米国をはじめとした海外景気の本格的回復に伴い内外金利差が大きく拡大し、その結果、対外証券投資や円キャリートレード等を通じた円売りが盛り上がってくるのが不可欠。



# 11月半ば以降の円安進行はいわゆる「アナウンスメント効果」に支えられた側面が大きく、円安の持続性には疑問。

11月14日に野田首相が衆議院解散を表明後、日銀に積極的な金融緩和を求める自民党への政権交代の思惑等を背景に、円が急落。日銀の金融緩和強化により為替相場を円安に誘導することはできるのか。日銀の金融緩和が円安を促す経路としては、以下のような経路を想定可能。

第1は、名目金利の低下。ドル円相場は日米名目金利差と強い相関。日銀の金融緩和によりわが国の名目金利を低下させることができれば、円安に誘導できる可能性。もっとも、為替相場に与える影響が大きい2年債利回りの低下余地は乏しい状況。

第2は、インフレ率の上昇。購買力平価の観点では、相対的にインフレ率の高い国の通貨が減価。日銀の金融緩和(量的緩和)が「ベースマネーの増加→銀行貸出を通じたマネーストックの増加→投資・消費などの増加」を経由してインフレ率の上昇に繋がれば、円安に誘導できる可能性。もっとも、現状ではベースマネーの増加がマネーストックの増加にほとんど繋がっていない状況。

第3は、アナウンスメント効果。日銀の金融緩和が円安(ないしはインフレ率の上昇)に繋がるという期待を市場参加者に抱かせることができれば、市場参加者の円売りドル買いを誘発し、円安に誘導できる可能性。もっとも、日銀の金融緩和に対する市場参加者の過度な期待が剥落すれば、円高に振れるリスク。

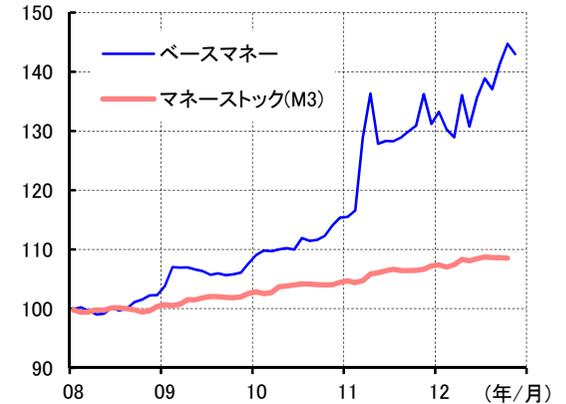
以上を踏まえれば、11月半ば以降の円安進行は、いわゆる「アナウンスメント効果」に支えられた側面が大きく、政府・日銀が一体となって円高・デフレ脱却に繋がるような政策を地道に実行していかない限り、円安の持続性には疑問。

金融政策に関する安倍総裁の発言と自民党の政権公約

項目	概要
インフレ目標の設定	「物価上昇目標(2%)を政府・日銀のアコード(協定)で定める」「日銀法改正も政府・日銀の連携強化の仕組みを整える」(政権公約)
無制限の金融緩和	「物価目標2%を達成するまで無制限な金融緩和をすべき」(安倍総裁発言)
超過準備の付利撤廃、マイナス金利導入	「銀行が政府にお金を預ければ0.1%の金利がつくのは高すぎるむしろ逆にゼロにするか、マイナスに」(安倍総裁発言)
外債購入	「財務省と日銀、民間が参加する『官民協調外債ファンド』の創設検討」(政権公約)
建設国債の引き受け	「建設国債をできれば日銀に全部買ってもらう」(安倍総裁発言)

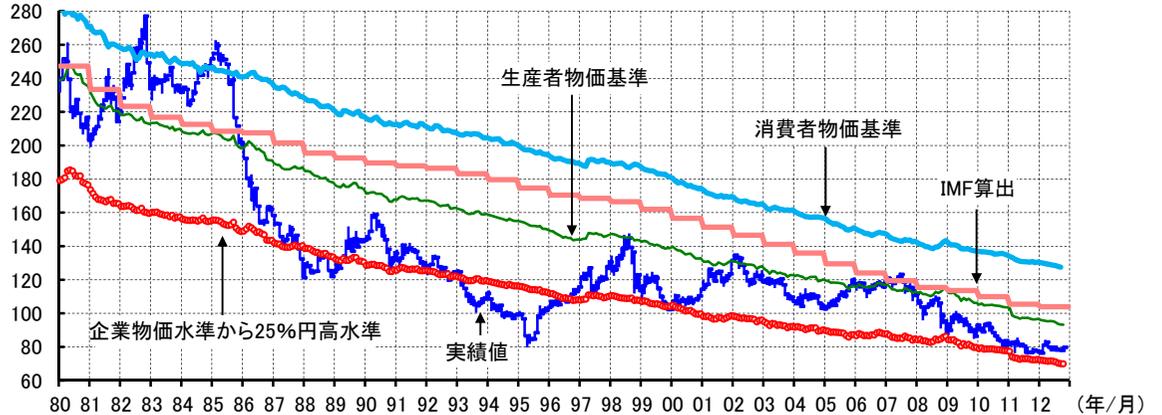
(資料)自民党政権公約、各種報道をもとに日本総研作成。

わが国のベースマネーとマネーストック (2008/8=100)



(資料)日銀

日米購買力平価



(資料)日銀、総務省、米労働省、IMFをもとに日本総研作成

(注)消費者物価、生産者物価基準の購買力平価は、1973年を基準にして日本総研が試算。

# ドル円:80円台前半をコアレンジとした円弱含みの展開となる見通し。 ユーロ:大幅なユーロ安進行リスクは後退するも、リスクはユーロ安方向。

## <ドル円相場の見通し>

自民党を中心とした新政権が誕生した場合の日銀に対する金融緩和圧力強化観測や、わが国貿易収支の悪化をはじめとした為替需給面での円高圧力減退等により、円が弱含みやすい地合い。もっとも、日銀の金融緩和に対する過度な期待が剥落する可能性があるほか、米国の「財政の崖」と呼ばれる財政政策を巡る不透明感等も燻っており、円高ドル安に振れるリスクが残存。

米国の「財政の崖」回避が期待される来春以降は、米国景気の回復期待が高まるのに伴い、ドルが底堅さを増す可能性。もっとも、FRBが雇用情勢に顕著な改善が認められるまで積極的な金融緩和を継続する意向を示していることから、本格的な円安ドル高進行にはなお時間がかかる見通し。

## <ユーロ相場の見通し>

ECBや欧州各国による危機対応策の進展により、金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは後退。需給面からみれば、対内証券投資が持ち直すなど、ユーロ圏への資金流入が回復していることがユーロを下支えしている可能性。

もっとも、①欧州債務問題の再燃リスクが残っていること、②緊縮財政等を背景にユーロ圏景気の悪化が続くと予想されること、③財政政策が封じられるなか、景気刺激の観点からECBへの追加金融緩和期待が高まりやすいこと、等から、今後もユーロ下振れリスクが残存。

ドル円相場見通し

	2012年		2013年		
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
期中平均	78.6	81	82	82	83
(高値)	80.1	84	85	86	86
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	77.1	78	77	78	79

予測

ユーロ円相場見通し

	2012年		2013年		
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
期中平均	98.4	105	106	105	104
(高値)	103.9	109	109	108	107
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	94.1	100	99	98	97

予測

ユーロドル相場見通し

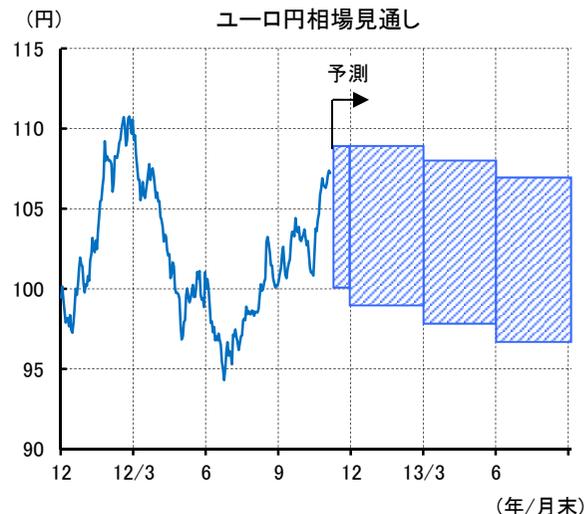
	2013年				
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
期中平均	1.28	1.30	1.29	1.27	1.25
(高値)	1.32	1.32	1.32	1.31	1.30
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	1.20	1.25	1.22	1.21	1.20

予測

ドル円相場見通し



ユーロ円相場見通し



内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	\$/€ (NY終値)	無担O/N (%)	TIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	FF0/N (%)	LIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	S&P500	EONIA (%)	EURIBOR 3ヵ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ユー・ ストック50	WTI 原油先物 (\$/B)	COMEX 金先物 (\$/TO)
09/1	90.36	120.10	1.3288	0.1202	0.73	1.25	8331.49	0.15	1.21	2.46	8396.20	865.58	1.81	2.46	3.09	3.36	2340.04	41.92	862.68
09/2	92.85	118.87	1.2805	0.1108	0.71	1.29	7694.78	0.22	1.24	2.85	7690.50	805.23	1.26	1.94	3.16	3.60	2159.84	39.26	941.80
09/3	97.74	127.76	1.3074	0.1000	0.68	1.30	7764.58	0.18	1.27	2.80	7235.47	757.13	1.06	1.64	3.06	3.20	1993.93	48.06	926.85
09/4	98.93	130.65	1.3207	0.1037	0.62	1.44	8767.96	0.15	1.11	2.90	7992.12	848.15	0.84	1.42	3.19	3.36	2257.10	49.95	890.82
09/5	96.51	131.91	1.3672	0.1021	0.58	1.44	9304.43	0.18	0.82	3.30	8398.37	902.41	0.78	1.28	3.42	3.63	2426.68	59.21	930.38
09/6	96.67	135.47	1.4014	0.1040	0.56	1.47	9810.31	0.21	0.62	3.70	8593.00	926.12	0.70	1.23	3.55	3.82	2449.02	69.70	945.56
09/7	94.45	133.05	1.4086	0.1016	0.56	1.34	9691.12	0.16	0.52	3.53	8679.75	935.82	0.36	0.98	3.36	3.81	2462.09	64.29	935.05
09/8	94.92	135.40	1.4266	0.1057	0.55	1.37	10430.35	0.16	0.42	3.57	9375.06	1009.72	0.35	0.86	3.33	3.69	2702.65	71.14	949.73
09/9	91.39	133.10	1.4564	0.1025	0.53	1.31	10302.87	0.15	0.30	3.39	9634.97	1044.55	0.36	0.77	3.29	3.66	2827.93	69.47	997.95
09/10	90.31	133.83	1.4818	0.1061	0.53	1.33	10066.24	0.12	0.28	3.36	9857.34	1067.66	0.36	0.74	3.23	3.54	2865.49	75.82	1045.02
09/11	89.11	133.01	1.4928	0.1053	0.52	1.35	9640.99	0.12	0.27	3.38	10227.55	1088.07	0.36	0.72	3.28	3.71	2843.77	78.15	1131.67
09/12	90.05	131.15	1.4568	0.1011	0.47	1.26	10169.01	0.12	0.25	3.59	10433.44	1110.38	0.36	0.71	3.23	3.84	2907.65	74.60	1126.72
10/1	91.22	130.20	1.4272	0.0964	0.45	1.33	10661.62	0.11	0.25	3.71	10471.24	1123.58	0.34	0.68	3.29	3.97	2922.72	78.40	1117.09
10/2	90.16	123.35	1.3682	0.1007	0.44	1.33	10175.13	0.13	0.25	3.68	10214.51	1089.16	0.34	0.66	3.19	4.02	2727.48	76.45	1097.81
10/3	90.72	123.12	1.3574	0.0973	0.44	1.34	10671.49	0.16	0.27	3.72	10677.52	1152.05	0.35	0.65	3.13	4.02	2890.47	81.29	1114.57
10/4	93.49	125.54	1.3428	0.0929	0.41	1.35	11139.77	0.20	0.31	3.82	11052.15	1197.32	0.35	0.65	3.09	3.99	2937.30	84.58	1149.50
10/5	91.88	115.21	1.2535	0.0908	0.39	1.27	10103.98	0.20	0.46	3.40	10500.19	1125.06	0.34	0.69	2.80	3.72	2642.13	74.12	1206.58
10/6	90.81	110.89	1.2212	0.0948	0.39	1.20	9786.05	0.18	0.54	3.19	10159.27	1083.36	0.35	0.73	2.63	3.49	2641.66	75.40	1233.98
10/7	87.56	112.09	1.2803	0.0944	0.37	1.10	9456.84	0.18	0.51	2.98	10222.24	1079.80	0.48	0.85	2.65	3.38	2669.50	76.38	1192.99
10/8	85.37	110.12	1.2898	0.0950	0.37	0.98	9268.23	0.19	0.36	2.68	10350.40	1087.28	0.43	0.90	2.37	3.07	2712.23	76.67	1217.90
10/9	84.38	110.47	1.3093	0.0912	0.36	1.06	9346.72	0.19	0.29	2.64	10598.07	1122.08	0.45	0.88	2.34	3.02	2766.09	75.55	1272.30
10/10	81.80	113.69	1.3900	0.0909	0.34	0.89	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	1171.58	0.70	1.00	2.37	2.96	2817.71	81.97	1344.78
10/11	82.58	112.61	1.3641	0.0906	0.34	1.05	9797.18	0.19	0.29	2.74	11198.31	1198.89	0.59	1.04	2.56	3.20	2809.64	84.31	1371.80
10/12	83.22	110.06	1.3227	0.0869	0.34	1.19	10254.46	0.18	0.30	3.28	11465.26	1241.53	0.50	1.02	2.96	3.50	2825.58	89.23	1392.60
11/1	82.62	110.49	1.3374	0.0848	0.34	1.21	10449.53	0.17	0.30	3.36	11802.37	1282.62	0.66	1.02	3.05	3.60	2900.69	89.58	1361.02
11/2	82.57	112.80	1.3662	0.0934	0.34	1.28	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1321.12	0.71	1.09	3.23	3.77	3015.73	89.74	1375.12
11/3	81.64	114.45	1.4019	0.0846	0.34	1.25	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1304.49	0.66	1.18	3.25	3.60	2890.36	102.98	1422.91
11/4	83.17	120.35	1.4473	0.0623	0.33	1.27	9644.62	0.10	0.28	3.43	12434.88	1331.51	0.97	1.32	3.35	3.63	2947.16	110.04	1485.41
11/5	81.15	116.24	1.4326	0.0693	0.33	1.14	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1338.31	1.03	1.43	3.11	3.36	2885.77	101.36	1512.55
11/6	80.47	115.89	1.4401	0.0685	0.33	1.13	9541.53	0.09	0.25	2.99	12097.31	1287.29	1.12	1.49	2.97	3.25	2766.61	96.29	1528.62
11/7	79.27	113.30	1.4293	0.0731	0.33	1.11	9996.68	0.07	0.25	2.98	12512.33	1325.18	1.01	1.60	2.79	3.13	2743.46	97.34	1574.62
11/8	77.05	110.46	1.4339	0.0806	0.33	1.02	9072.94	0.10	0.29	2.29	11326.62	1185.31	0.91	1.55	2.25	2.55	2297.21	86.34	1763.99
11/9	76.86	105.70	1.3752	0.0801	0.33	1.00	8695.42	0.08	0.35	1.96	11175.45	1173.88	1.01	1.54	1.87	2.41	2124.31	85.61	1771.92
11/10	76.68	105.26	1.3728	0.0814	0.33	1.01	8733.56	0.07	0.41	2.13	11515.93	1207.22	0.96	1.58	2.04	2.50	2312.30	86.43	1671.25
11/11	77.54	105.09	1.3554	0.0768	0.33	0.99	8506.11	0.08	0.48	2.00	11804.33	1226.41	0.79	1.49	1.95	2.24	2239.58	97.16	1739.43
11/12	77.84	102.35	1.3149	0.0778	0.33	1.00	8505.99	0.07	0.56	1.97	12075.68	1243.32	0.63	1.43	1.99	2.11	2283.30	98.58	1638.58
12/1	76.93	99.33	1.2912	0.0805	0.33	0.97	8616.71	0.08	0.57	1.93	12550.89	1300.58	0.38	1.22	1.86	2.04	2382.07	100.32	1657.22
12/2	78.60	104.06	1.3237	0.0849	0.33	0.96	9242.33	0.10	0.50	1.96	12889.05	1352.49	0.37	1.05	1.90	2.13	2508.24	102.26	1741.61
12/3	82.55	109.07	1.3214	0.0840	0.33	1.00	9962.35	0.13	0.47	2.16	13079.47	1389.24	0.36	0.86	1.88	2.25	2532.18	106.20	1676.67
12/4	81.27	106.99	1.3164	0.0745	0.33	0.95	9627.42	0.14	0.47	2.03	13030.75	1386.43	0.35	0.74	1.73	2.12	2340.78	103.35	1649.74
12/5	79.68	101.90	1.2788	0.0836	0.33	0.85	8842.54	0.16	0.47	1.78	12721.08	1341.27	0.34	0.69	1.46	1.87	2198.50	94.72	1587.68
12/6	79.35	99.57	1.2548	0.0764	0.33	0.84	8638.08	0.16	0.47	1.61	12544.90	1323.48	0.33	0.66	1.43	1.67	2152.74	82.41	1600.53
12/7	78.98	97.09	1.2293	0.0836	0.33	0.77	8760.68	0.16	0.45	1.50	12814.10	1359.78	0.18	0.50	1.31	1.55	2258.36	87.93	1593.68
12/8	78.68	97.59	1.2404	0.0863	0.33	0.80	8949.88	0.13	0.43	1.67	13134.90	1403.44	0.11	0.33	1.42	1.57	2424.50	94.16	1630.27
12/9	78.16	100.62	1.2874	0.0848	0.33	0.80	8948.59	0.14	0.39	1.70	13418.50	1443.42	0.10	0.25	1.55	1.77	2530.69	94.56	1745.83
12/10	79.01	102.47	1.2970	0.0849	0.33	0.77	8827.39	0.16	0.33	1.72	13380.65	1437.82	0.09	0.21	1.52	1.80	2503.47	89.57	1744.43
12/11	81.05	104.07	1.2838	0.0856	0.32	0.74	9059.86	0.16	0.31	1.65	12896.44	1394.51	0.08	0.19	1.39	1.79	2513.98	86.73	1722.91